

産業分野 政策 2 「活力ある商工業の振興」

目指す姿 1

- 競争力のある意欲的な事業者が、多様な分野で集積し、国内外で活発な経済活動を行っている。
- 働く場として姫路の魅力が高まり、多様な人材がいきいきと働き、市内の労働力が充実している。

【現状と課題】

- 本市には、重化学工業を中心に重厚長大産業が集積し、地域経済をけん引しています。地域経済のさらなる発展に向けては、経済市場のグローバル化や消費・流通環境の急速な変化を視野に入れ、国際競争力を地域で獲得していくことが必要です。
- 我が国の労働生産性は、欧米諸国に比べると低く、業務効率化と高付加価値化による生産性の向上が主要課題の一つとされています。
- 市内企業の労働力は、全国と同様に不足傾向が続いており、生産年齢人口の減少によってさらに人手不足の深刻化が見込まれています。また、若者を中心に東京圏、大阪府への転出超過が続いており、雇用のミスマッチなどが課題となっています。
- 新型コロナウイルスの感染拡大により、企業活動に深刻な影響が出ています。特に、中小零細企業の中には、事業の存続が危ぶまれる企業も見られ、地域の活力、技術の伝承、雇用の維持の観点からしっかりと支援をしていくことが求められています。

【目指す姿を実現するための方向性】

人
地
域

ア 地域経済を支える産業人材の確保・育成

- 市内外の学生や若者に、姫路で働くことや市内企業の魅力を積極的に発信するとともに、就業支援や移住定住支援を充実させることで市内の労働力の確保・定着を図ります。
- 高度な技術や専門的知識、豊かな発想力を持つ IT・クリエイティブ人材の育成環境を、教育機関と連携しながら整えることなどにより、姫路の新たな価値を生み出す産業人材を確保・育成します。

イ 多様な人材が活躍できる労働環境づくり

ICTを活用した働き方改革を促進するなど、若者や女性、高齢者、障害者、外国人などの多様な人材が、それぞれのライフスタイルやライフステージに応じた働き方で、能力や経験を活かしながら働き活躍し続けることができる労働環境づくりに取り組みます。

活
力

ウ 次世代ものづくりの推進と連携・共創による新産業・イノベーションの創出

- 本市の強みである「ものづくり」力のさらなる強化と、新製品・新技術の開発や新たなビジネスモデルの創出に向け、先端技術の活用や環境・エネルギー、健康・医療などの成長産業への参入を促進します。
- 新たなブランドやイノベーションを生み出すため、播磨圏域連携中枢都市圏の産官学金などの連携強化により、多様な企業や人材がオープンに交流する場づくりに取り組むなど、業種、分野、地域を越えた事業者の連携・共創を促進します。

エ 地域経済の持続的発展を支える企業集積の推進と創業支援

- 市内での事業拡大を進める企業への支援をはじめ、若者や女性など多様な人材の活躍に着目した企業誘致や、物流機能が充実した自動車専用道路等のインターチェンジやランプ周辺への企業立地に取り組むなど、地域経済の持続的発展を支える企業集積を進めます。また、企業ニーズを踏まえた様々な視点からの工場適地の創出に努めるなど、立地環境の充実を図ります。
- 地域に新たな活力を生み、成長産業の発展を加速させるため、国や兵庫県、関係機関と連携しながら、個人や企業が新事業の立ち上げや新分野への進出にチャレンジしやすい環境づくりに取り組みます。

オ 地域に根ざした魅力ある商業活動の促進

市内の商業施設や商店街が、モノやサービスの購入をはじめ、コミュニティ活動の場として地域を支えていくことができるよう、事業者や商店街組織による多様な消費者ニーズや生活様式に対応した魅力的な店舗・サービスづくりを促進します。

カ 中小企業・地場産業の安定的な経営基盤の確立

中小企業の経営改善や総合的なものづくりへの支援をはじめ、地場産業の活性化に取り組むとともに、事業承継や後継者育成のほか、災害等の非常時における事業継続力の強化に向けた支援を行うなど、中小企業や地場産業の経営基盤の安定化を図ります。

土
台

キ 地域経済を支える物流・交流機能の充実

- 国や兵庫県、関係機関と連携しながら、国際拠点港湾姫路港や播磨臨海地域道路の整備を進め、姫路・播磨の強いものづくり産業をはじめ地域経済を支える物流機能を充実させます。
- 臨海部の玄関口である姫路港において、その特色を活かした賑わい拠点づくりに取り組むとともに、ビジネスの交流拠点としての姫路市文化コンベンションセンターの利活用を図るなど、交流機能を充実させます。

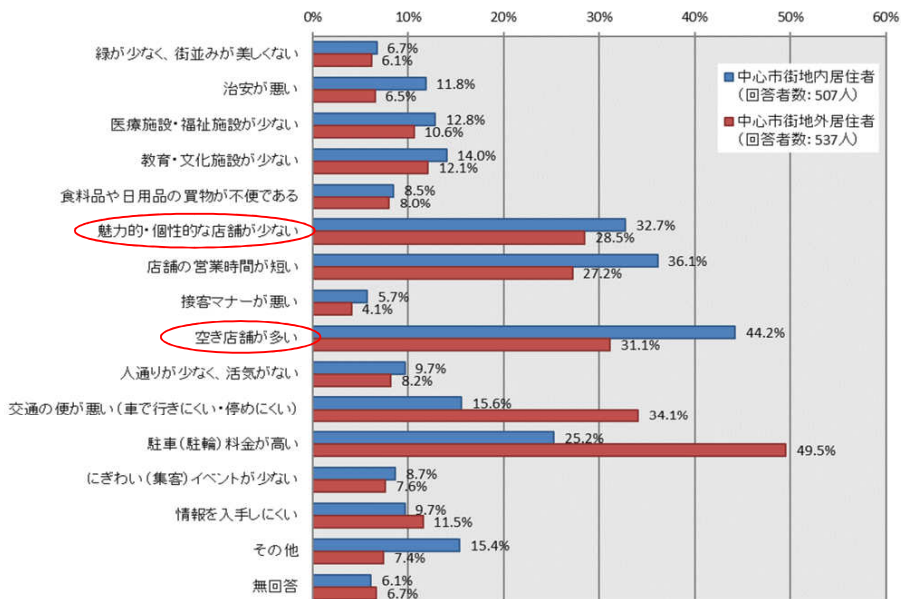
目指す姿 2

播磨圏域の交流拠点として、賑わいと活気あふれる魅力的な中心市街地が形成され、市全体の活力が向上している。

【現状と課題】

- 姫路駅周辺整備が進み、中心市街地（まちなか）を訪れる人が増加しています。今後は、多世代の居住者や来街者、観光客の回遊と滞在を生み出す魅力的な拠点や空間づくりがより重要となります。
- 国は、民間活力を活用した自立的で持続可能なまちづくりや、居心地がよく、歩きやすくなるまちなか空間づくりを進めています。
- 本市では、姫路駅西地区での遊休不動産を活用したリノベーションまちづくりや大手前通り沿道の魅力づくりなど、まちなか全体のエリア価値を向上させる取組を公民連携により進めています。

※関連データ：現在の中心市街地のどのような部分に不満がありますか（複数回答あり）



(資料) 産業振興課「中心市街地活性化基本計画市民意識調査(令和元年度)」

【目指す姿を実現するための方向性】

人 地 域

ク 民間主導・行政支援によるまちなかづくりの推進

- 若者や創業者がまちなかで商いやまちづくりにチャレンジしやすい仕組みを作り、まちの魅力を生み出し発信できるまちづくりプレイヤー（作り手やクリエイター）を確保・育成します。
- まちなかの多様な関係者を巻き込んだまちづくり推進組織を中心に、自立的なエリアマネジメントに向けた仕組みづくりを進めます。

活 力

ケ まちなかの回遊性とエリア価値の向上

まちなかの公共空間や遊休不動産の利活用などにより、来街者や観光客が歩きながら楽しみ、長く滞在したくなるような賑わいと魅力づくりに取り組み、まちなか全体の回遊性とエリア価値をさらに高めていきます。

土 台

コ ハード事業とソフト事業を連携させたまちなかづくり

まちなかの関係機関と連携しながら、基盤整備の段階から整備後の利活用や賑わい創出を一体的に考えたまちなかづくりに取り組みます。

市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること

市 民

- 世界で活躍する姫路の企業や、姫路の魅力的な商品・サービスを知り、その魅力をたくさんの人に伝えていきましょう。
- まちなかでのイベントに積極的に参加するほか、担い手としてイベントに参画しましょう。

地 域 コ ミ ュ ニ ティ

- 創業者やフリーランスで働く人が、地域コミュニティの担い手として、地域や商店街で事業活動をする機会や場の提供に努めましょう。
- 市や事業者などと連携しながら、来街者や観光客に愛されるまちなかの賑わいづくりや新たな魅力づくりに取り組みましょう。

企 業 ・ 団 体

- 業種、分野、地域を越えて、様々な事業者や関係機関と連携しながら、新しい技術や魅力ある製品・サービスの開発や提供に積極的に取り組みましょう。
- ライフスタイルや働き方の変化に対応した労働環境の整備や多様な人材の活用に努めましょう。
- 災害・感染症流行等の非常時に備え、事業継続計画の策定や業務改善に努めましょう。